



とよおかこうかきょう 豊岡高架橋



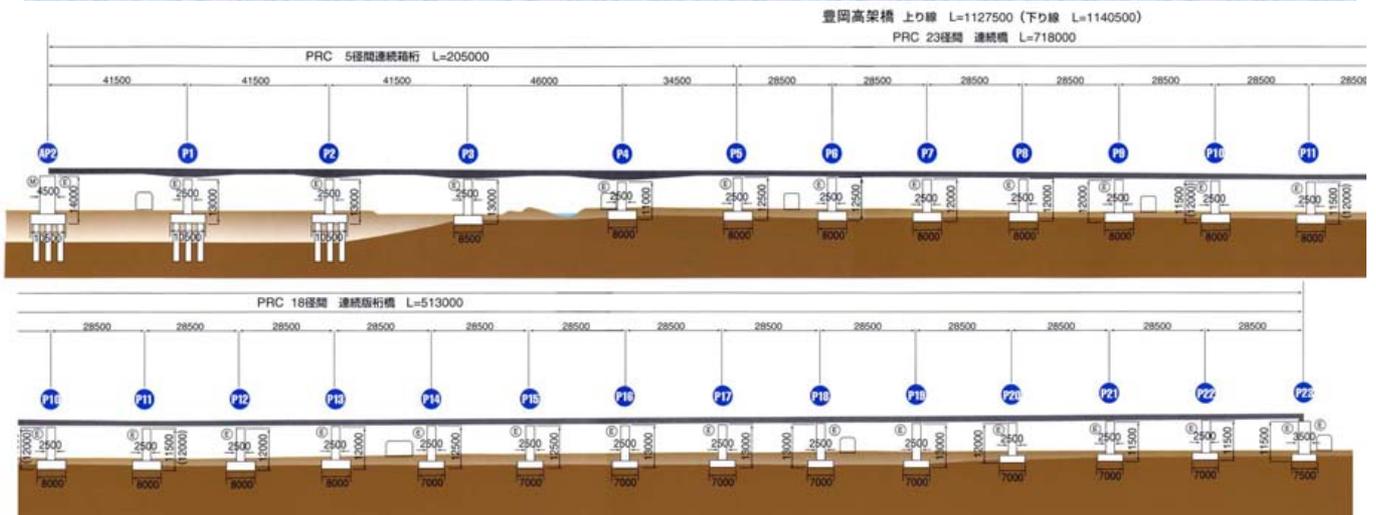
豊岡高架橋は、第2東名高速道路の森掛川ICと浜北IC間の磐田郡豊岡村に位置する3主版桁橋と箱桁橋より構成される橋長718mの23径間連続桁橋です。

施工実績の少ない3主版桁橋は、FEM解析および格子解析により設計し、同種橋梁の設計のガイドライン的役割を担っています。

架設は、3主版桁部、箱桁部ともに1径間毎に全支保工で施工しています。

一般図

側面図



橋梁諸元

断面図

工事名：第二東名高速道路 豊岡高架橋（PC上部工）西工事
 発注者：日本道路公団静岡建設局
 位置：静岡県磐田郡豊岡村合代島～新開
 道路規格：第1種第1級A規格
 形式：23径間連続PRC橋（箱桁部：5径間、3主版桁部：18径間）
 荷重：B活荷重
 橋長：718.0m (3@41.5+46.0+34.5+18@28.5)
 総幅員：18.05m（有効幅員：16.5m）
 架設工法：固定支保工分割架設工法

PC鋼材：3主版桁部：主ケーブル SWPR19 1S28.6（SM工法）
 床版横締め鋼材 SWPR19 1S21.8（SM工法）
 横桁横締め鋼材 SWPR19 1S28.6（SM工法）
 箱桁部：主ケーブル SWPR7B 12S15.2（アンダーソン工法）
 SWPR19 1S28.6（SM工法）
 床版横締め鋼材 SWPR19 1S21.8（SM工法）
 横桁横締め鋼材 SWPR19 1S28.6（SM工法）

